

現場を支える
重機・ロボット

高所法面掘削機械 ロッククライミング マシーン

(特許取得済)

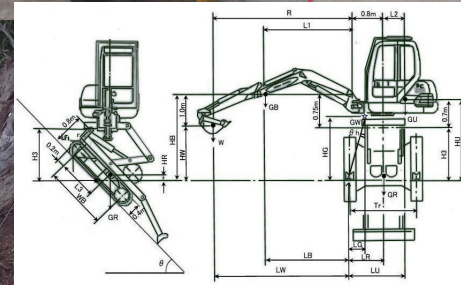
大昌建設株式会社



RCM03

RCM20

RCM12



ロッククライミングマシンの利点

- ① 機械化による作業安全の確保!!
- ② 短工期・低コスト・省力化!!
- ③ 工事要件に適合する機種対応力!!

RCM10

RCM06



RCM01

【安全性】

重機に専用開発の安全策を講じた上で、労働則などの定めにも照らしてアンカー荷重は1.5倍以上、全ワイヤーは10倍以上の安全率を確保。また立木アンカーの他に重機置換など、現場条件に対応する柔軟なアンカー手法を有しています。

【短工期・低コスト】

命綱に頼った従来の高所人力掘削を機械化することで、施工量アップによる工期短縮と総コストの削減、並びに省力化を実現します。

【機種バリエーション】

超小型から超大型まで、運転方法も含めた幅広い機種展開により、工事要件への対応力確保とさらなる拡充を図っております。

RCMラインアップ 主要諸元一覧

仕様	型式	RCM01	RCM03	RCM06	RCM10	RCM12	RCM20
寸法	全長(輸送時)(mm)	5,200	5,200	5,900	6,700	9,000	11,500
	全高(輸送時)(mm)	2,200	3,030	3,080	2,800	3,340	3,750
	全幅(輸送時)(mm)	1,000	1,980	2,780	2,490	2,970	3,000
性能	全装備重量(kg)	1,650	5,670	8,775	14,100	20,000	28,500
	作業可能傾斜角度(度)	0~80	0~80	0~80	0~90	0~80	0~90
その他	バケット容量(m³)	0.028	0.1	0.25	(0.4)	0.45	(0.8)
	ブレーカ	200kg用	500kg用	800kg用	800kg用	1,300kg用	
	操作方法	搭乗式		搭乗/ラジコン 両対応			

千葉県成原市の大昌建設(株)が1991年に初号機を開発したロッククライミングマシン(RCM)。従来、油圧ショベルが使えない高所での切取・掘削・整形作業を人力に代わって実現する高所法面掘削機械である。オペレーターによる搭乗運転以外に、特殊対応が求められる現場に向けてはラジコン遠隔施工も可能で、安全性を確保した上での短工期・低コスト・省力化を実現する高所法面掘削に特化した油圧ショベルだ。2020年度末時点において、公共・民間合わせ5,400件超の施工実績を有する。

RCMは、施工面上部に重機本体からの主ワイヤーを固定するための主アンカーを設置・確保することで、あらゆる法面を自在に移動しながら掘削掘削を可能とする高所法面掘削機械である。通常型の油圧ショベルの上部旋回体に水平を維持するリフティング機能を持たせ、下部走行体には2基のタイヤを備えて走行装置と同時に駆動することで、これを実現している。これまでは異なるレベルの国土強靱化対応が求められていた中、このような特殊機械の適用を通して、このような国土重要事業者に貢献することを旨とした取組みを続けている。

